

生徒会執行部の言葉



生徒会執行部

走り続けた一年間

生徒会長 五年二組 増子 きよら

「凜」というスローガンのもと、スタートを切った生徒会長としての日々。決して自分だけでは見られなかった多くの景色、学びを手にし、遂にゴールを迎えました。

「リーダーシップを発揮してカッコいい生徒会長になりたいです。」

私は中等の入学試験でこんな言葉を言いました。しかし現実にはリーダーシップを発揮していた訳でも、カッコいい訳でもなかったと振り返ります。たくさんの人に支えられ、生徒の一人として学校のために何ができるかを考えた一年間でした。今年度は感染症の影響が残る中ではありましたが行事をほぼ例年通りに開催することができました。また、意見箱やアンケートを通して皆さんの声を多く聞くことを心がけました。長い時間がかかり、ようやく自動販売機が設置されたことも心に残っています。このような活動ができたのは全校生徒の皆さん、先生方、保護者の皆さんの支えのおかげです。本当にありがとうございます。

生徒会長として活動していなかったら出会えなかった人、学びがたくさんあります。村上中等に入學し、生徒会長になれて本当に幸せです。来年度執行部の皆さん、いつでも感謝の気持ちを忘れず、進んで周囲を頼ってください。皆さんの活動を心から応援しています。

挑戦

後期副会長 五年一組 阿部 晏佳

この一年を振り返った時、私は沢山の挑戦と成長があった年だと感じます。

三月、副会長になって初めての大きな仕事は対面式の準備でした。準備を進める中で私は何度も自分の立場の重大さに気づかされ、プレッシャーを感じていました。二年前、会計として生徒会活動をしてきた時は何か困ったことがあっても当たり前のように先輩方が助けてくれていたのが、今度は自分がその立場に変わったことで、自分達が主体となって動く大変さ、更に一つ一つの判断や言動に伴う責任の大きさを何度も痛感していました。

「0から1を作り出し、100にする」今年度は幸いな事にコロナ禍の行動制限が少しずつ緩和され、様々な行事での許容の範囲も広がりました。状況を把握し、その時できる事を必死に考え、トライを積み重ねる。思い通りにいかず悩むことも沢山ありましたが、その分一年を通じて様々な挑戦・経験が出来ました。しかしそれは生徒会顧問の先生をはじめ本当に多くの人の協力やサポートがあったからです。生徒会の活動は決して執行部の力だけでは成り立ちません。困っている時に手を貸してくださった方、声をかけてくださった方、その他様々な形で活動に協力してくださった沢山の厚意には感謝してもしきれません。一年間、私個人を、そして生徒会を支えて下さり本当にありがとうございます。最後に一年間一緒に活動してくれた執行部メンバー、沢山の最高の思い出をありがとうございます！

青春

事務局長 五年一組 園部 紗英

今年度を振り返ると本当にあつという間で濃く充実した一年でした。

特に印象深かった行事は六碧祭です。誰も運営を経験していない上に三年ぶりの開催というのもあり通常時の六碧祭はどのようなものだったか記憶が薄れ、きちんと運営していけるのか不安でした。ですが、六人それぞれの得意分野と豊かな個性を生かしてまた新たな「六碧祭」を作り上げることができたと 생각합니다。有志発表の時のステージから見えたカラフルなペンライトや皆さんの歓声、笑顔は「今までがんばってきてよかった。」と思わせるくらい嬉しくて感動しました。あの光景は今でも忘れることができませぬ。

生徒会活動を通して数々の貴重な体験をさせてもらうとともに、自分に自信を持つことができるようになりました。また、人と交流する機会が増えていきそこからまた新たな刺激を受けることができました。

最後になりますが、この一年間全校生徒の皆さんにはもちろんのこと、先生方として一番そばで支えてくれた執行部の五人にはたくさんお世話になり感謝してもしきれません。

人生一度きりの「青春」を私に委ねてくださいありがとうございます。ありがとうございました。

一年間で得られたもの

前期副会長 三年二組 嶋津 菜美

私はこの一年間前期生徒会副会長として活動してきました。大変なことばかりでしたが、とても貴重な体験になりました。

特に大変だったのは六碧祭の準備です。新型コロナウイルスの影響で感染対策の強化を余儀なくされた開催でした。前例が無かったため、一から企画を考え運営しなければなりません。毎日下校時刻間際まで有志発表の準備をしたり、休日に登校して資料づくりをしたりしてもなかなか終わらず、執行部全員が気力と体力の限界を迎えました。行事の企画や運営の過酷さが分かった経験でした。

このように多忙な一年の中にも得られたものが多くありました。まず、縦のつながりができたことです。行事を通して同級生だけでなく、先輩や後輩とも接する機会が一気に増え、それぞれの立場を尊重する考え方を学ぶことができました。次に、社会人になって必要とされるパソコンの技術を得られたことです。エクセルで球技大会や六煌祭オーダー表を作成したり、ワードを使って行事の提案書を作ったりすることができるようになりました。

先生方、全校生徒のみなさん、一年間生徒会活動に協力していただき、本当にありがとうございます。

最高の一年間

書記長 三年一組 本荘 光

私が生徒会活動を始めてからもう一年が経ち、生徒会執行部の任期を終えました。この一年を振り返ってみると、あの忙しかった日々や、笑顔が絶えなかった日々を思い出します。生徒会メンバー全員で本気で行事の企画を考え、実行し、頑張ってきましたが、生徒からの厳しい声は少なくとも寄せられてきました。その都度申し訳気持ちになったり、全て自分の努力不足だと思い込んでしまい、毎日落ち込んだりしていました。そんな中、私に勇気をくれたのは、生徒会の皆でした。活動しているときに元気がなかったら、「大丈夫？なにかあったの？」と優しく声をかけてくれて、その度に相談に乗ってくれました。「私たち全員で一緒に乗り越えていこう！皆がいるから大丈夫！」と励ましてくれ、大きな勇気と自信を与えてくれました。一年間ここまで頑張ったのも、周りの人たちの支えがあつてこそだということに気がつき、それと同時に、感謝する心を自然と学ばされていきました。生徒会活動によつて学校生活は、自分にとって、本当にプラスになったと思います。

最初は緊張していたけど今では学年の壁も全く感じないほど仲良くなった生徒会メンバー、そして先生方、サポートしてくれた多くの人たちへ、ありきたりの言葉だけど感謝の気持ちを込めて「ありがとうございます」という言葉を伝えたいです。

生徒会に入って

会計 三年二組 今井 蒼

私が生徒会執行部に入って成長したこと、苦勞したこと、楽しかったことについて書きます。

成長したことは、自分の行動一つ一つに責任を持つようになったことです。生徒会は常に生徒の代表です。そのためみんなのお手本となるように学校生活を送りました。挨拶やそうじ、授業態度などです。それと同時に、周りを見て行動できるように努力しました。今、自分にできることはないかと考え、困っている友達に手助けをするようになりました。

苦勞したことは、生徒会が運営する学校行事の準備です。六煌祭、六碧祭などです。放課後だけでなく、昼休みも使った準備やリハーサルをしました。そのおかげで学校中の生徒と関わる機会が嬉しかったです。また、人前に入る発表では、あまり緊張しなくなりました。人前に入るのが当たり前になりました。

楽しかったことは、新しいことをしたことです。何もかもが初めての経験だったので、毎日が楽しかったです。例えばパソコンの操作や、コピー機の使い方、ルールブックの作成など幅広いことを学びました。その他にも、生徒会での会話がとても印象強く残っています。そのため、毎日生徒会室に足を運んでいました。

私は生徒会に入って一年。様々な経験をしました。この貴重な経験をいつまでも大切にしていきたいです。

